

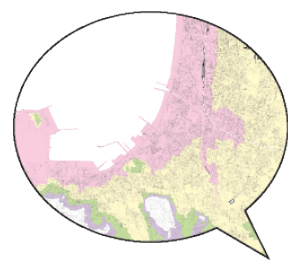
この防災マップ（地域版）の使い方

1

まず初めに自宅の位置を確認し、印を付けましょう。



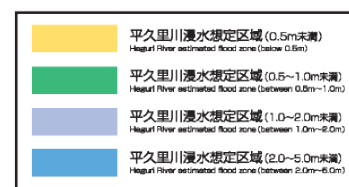
2



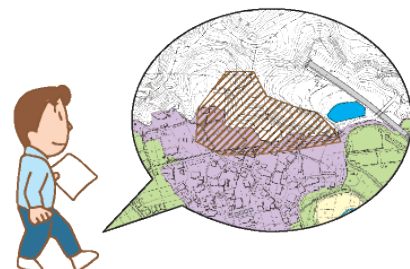
津波の心配がある地域の方は、自宅の海拔を確認しましょう。
津波危険区域は、内湾（船形から洲崎灯台まで）で海拔5m（ピンク色）、外湾（洲崎灯台から布良まで）海拔10m（ピンク色と黄色）の範囲内になります。

3

河川の近くや、水害の心配がある方は「平久里川浸水想定区域」の場所を確認しましょう。



4



山間部にお住まいの方は、「土砂災害危険箇所」の場所を確認しましょう。

5

地震・津波や台風など、災害が起きた時にあわてないように避難場所を確認しましょう。
※災害の種類によって避難場所が違うので、地図と汎例を見て確認して下さい。



6



ご家族で自宅から避難場所まで実際に歩いたり、地域の避難訓練に参加して、避難経路と避難場所の確認を行いましょう。
避難経路に倒れそうなブロック塀や、大雨の時に水がたまりそうな場所などがあればこのマップに書き加え、避難時には避けるようにしましょう。

7

この地図を家族全員で見やすい場所に貼り、いざという時に有効に活用しましょう。



日頃からの備えが大切です。

1

家族が慌てず行動できるように、事前に話し合っておきましょう。津波や大地震などの大災害が発生した場合、どこに避難し、どう連絡を取り合うのか、家族で事前に話し合っておけば、混乱を減らすことができます。



2

非常持出品の準備をしておきましょう。避難時にすぐ持ち出せるように、携帯ラジオ、懐中電灯、3日程度の飲料水と非常食などをリュックサックなどにまとめておきましょう。貴重品、常備薬、女性のエチケット品なども、必要に応じて準備して下さい。いざという時に、慌てたり逃げ遅れないようにしましょう。



3

自宅の内外の安全のチェックをしましょう。地震時の家具の転倒などによる怪我により、避難が困難になることがあります。最悪の場合、逃げ遅れて火災や津波の被害を受ける可能性もあります。家具の固定や、高いところに重いものや割れるものを乗せないなど、対策をしましょう。



4

ご近所どうしの助け合いが大切です。大災害が発生した場合、ご近所どうしで声をかけあって避難したり、自分が怪我をする場合もあります。日頃からのご近所どうしのお付き合いを大切にしましょう。



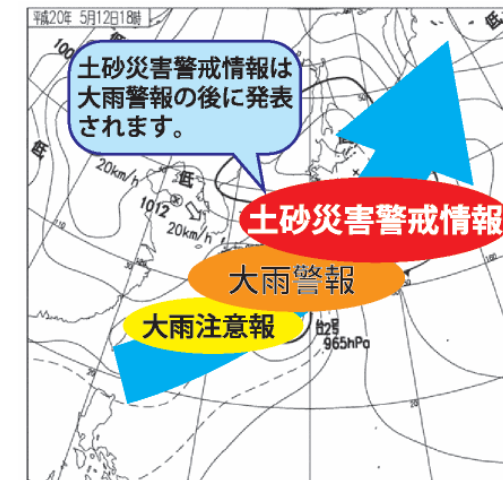
防災無線や安全安心メールなどの市からの防災情報

緊急な防災情報の中で、特に注意や避難をする必要があるなどの重要な情報です。防災行政無線や安全安心メールなどから、お伝えします。



避難指示	被害の危険が切迫した時の指示です。直ちに避難所に避難しましょう。指示に従わない方に対する直接強制ではありません。
避難勧告	居住者に避難を勧め促すものです。
避難準備	状況により避難勧告や避難指示が出ることが予測されるため、避難のための準備を呼びかけるものです。

土砂災害警戒情報とは



土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害を防ぐために、

- 1 住民の皆さんの避難準備や自主避難の判断
- 2 市町村の避難勧告や避難指示等を支援する情報です。

降雨の状況や今後の予測などから、千葉県と銚子地方気象台が連携して発表します。発表は市町村ごとに行われます。土砂災害警戒情報が発表されたときは非常に危険な状態です。

津波情報について

警報の種類	津波の高さ	サイレン	音声放送
大津波警報	10メートル超 10メートル 5メートル	3秒鳴らし、2秒休み (3回繰り返し)	大津波警報が発表されました。海岸付近の方は、ただちに高台に避難して下さい。
津波警報	3メートル	5秒鳴らし、6秒休み (2回繰り返し)	津波警報が発表されました。海岸付近の方は高台に避難して下さい。
津波注意報	1メートル	10秒鳴らし、2秒休み	津波注意報が発表されました。海岸付近の方は注意して下さい。

※津波発生情報の場合のみ防災行政無線からサイレンが鳴ります。

「防災行政無線からサイレンが鳴っている」「津波だ!」と覚えておきましょう。